

実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科名（修業年限）	ミュージックスタッフ科（2年） コンサートプロデュース専攻
-----------	----------------------------------

1年次			
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
キャリアデザイン(1)	60	○	MS1-01
音楽理論	60	○	MS1-03
電気音響概論	60	○	MS1-04
照明概論	60	○	MS1-05
イベントプロデュース演習	60	○	MS1-06
舞台美術実習(1)	60	○	MS1-07
映像編集実習	60	○	MS1-09
PA・SR実習(1)	120	○	MS1-10
レコーディング実習(1)	120	○	MS1-11
Pro Tools実習(1)	60	○	MS1-12
舞台機構調整技能講座(1)	60	○	MS1-13
コンサート実践(1)	60	○	MS1-14

合計時間数 840

学科名（修業年限）	ミュージックスタッフ科（2年） 舞台美術照明専攻
-----------	-----------------------------

1年次			
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
キャリアデザイン(1)	60	○	MS1-01
音楽理論	60	○	MS1-03
電気音響概論	60	○	MS1-04
照明概論	60	○	MS1-05
イベントプロデュース演習	60	○	MS1-06
舞台美術実習(1)	60	○	MS1-07
映像編集実習	60	○	MS1-09
PA・SR実習(1)	120	○	MS1-10
レコーディング実習(1)	120	○	MS1-11
Pro Tools実習(1)	60	○	MS1-12
舞台機構調整技能講座(1)	60	○	MS1-13
コンサート実践(1)	60	○	MS1-14

合計時間数 840

学科名（修業年限）	ミュージックスタッフ科（2年） コンサートプロデュース専攻
-----------	----------------------------------

2年次			
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
キャリアデザイン(2)	60	○	MS2-16
舞台機構調整技能講座(2)	120	○	MS2-17
舞台演出実習A	120	○	MS2-19
コンサート実践(2)	60	○	MS2-20
エンターテインメントビジネス	60	○	MS2-21
コンサートプロデュース実習	330	○	MS2-22
プロモーション演習	120	○	MS2-23

合計時間数 870

学科名（修業年限）	ミュージックスタッフ科（2年） 舞台美術照明専攻
-----------	-----------------------------

2年次			
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
キャリアデザイン(2)	60	○	MS2-16
舞台機構調整技能講座(2)	120	○	MS2-17
コンサート実践(2)	60	○	MS2-20
舞台演出実習B	120	○	MS2-24
【選択A】ステージライティング実習(2)	420	○	MS2-31
【選択A】舞台照明プランニング実習	120	○	MS2-32
【選択B】舞台美術実習(2)	420	○	MS2-33
【選択B】舞台美術図面制作実習	120	○	MS2-34

合計時間数 1440

総合計時間数(2年間) 1710

総合計時間数(2年間) 2280

実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科名（修業年限）	ミュージックスタッフ科（2年） PA エ ン ジ ニ ア 専 攻
-----------	-------------------------------------

1年次			
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
キャリアデザイン(1)	60	○	MS1-01
音楽理論	60	○	MS1-03
電気音響概論	60	○	MS1-04
照明概論	60	○	MS1-05
イベントプロデュース演習	60	○	MS1-06
舞台美術実習(1)	60	○	MS1-07
映像編集実習	60	○	MS1-09
PA・SR実習(1)	120	○	MS1-10
レコーディング実習(1)	120	○	MS1-11
Pro Tools実習(1)	60	○	MS1-12
舞台機構調整技能講座(1)	60	○	MS1-13
コンサート実践(1)	60	○	MS1-14
合計時間数	840		

学科名（修業年限）	ミュージックスタッフ科（2年） レコーディング・MA 専 攻
-----------	-----------------------------------

1年次			
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
キャリアデザイン(1)	60	○	MS1-01
音楽理論	60	○	MS1-03
電気音響概論	60	○	MS1-04
照明概論	60	○	MS1-05
イベントプロデュース演習	60	○	MS1-06
舞台美術実習(1)	60	○	MS1-07
映像編集実習	60	○	MS1-09
PA・SR実習(1)	120	○	MS1-10
レコーディング実習(1)	120	○	MS1-11
Pro Tools実習(1)	60	○	MS1-12
舞台機構調整技能講座(1)	60	○	MS1-13
コンサート実践(1)	60	○	MS1-14
合計時間数	840		

学科名（修業年限）	ミュージックスタッフ科（2年） PA エ ン ジ ニ ア 専 攻
-----------	-------------------------------------

2年次			
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
キャリアデザイン(2)	60	○	MS2-16
舞台機構調整技能講座(2)	120	○	MS2-17
コンサート実践(2)	60	○	MS2-20
PA・SR実習(2)	420	○	MS2-25
音響概論(2)	120	○	MS2-26
Pro Tools実習(2)	120	○	MS2-35
合計時間数	900		

学科名（修業年限）	ミュージックスタッフ科（2年） レコーディング・MA 専 攻
-----------	-----------------------------------

2年次			
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
キャリアデザイン(2)	60	○	MS2-16
舞台機構調整技能講座(2)	120	○	MS2-17
コンサート実践(2)	60	○	MS2-20
JAPRS SR検定対策	60	○	MS2-27
JAPRS PT検定対策	60	○	MS2-28
レコーディング実習(2)	420	○	MS2-29
MA実習	120	○	MS2-30
Pro Tools実習(2)	120	○	MS2-35
合計時間数	1020		

総合計時間数（2年間） 1740

総合計時間数（2年間） 1860

授業科目名	キャリアデザイン(1)		担当者名	三浦 貴子			
			実務経験	企業団体教育研修・秘書検定面接審査員			
教科書	2025年ビジネス能力検定ジョブパス 3級公式テキスト	単位数 4	学科 ミュージックスタッフ科	学年	学期	科目種別	授業方法
	3級公式試験問題集	時間数 60		1年	通年	必修	講義
授業概要	社会人としての基本的な考え方を身に着けると共に、社会人に広く求められるマナー等の知識を身に着け、実践できる事を目指し、社会人としてふさわしい人物像へと成長する事を目的とします。						
学習到達目標	・自身のキャリア形成の中で役立つ知識を習得する。・社会人として必要と言われるマナーやルールを理解する。 ・コミュニケーション能力を修得し他者との円滑な関係を構築する。 ・自己分析を通じ、自己の柱を認識し、社会人として環境の変化に対する対応力を高める。						
評価方法	定期試験(60%)、演習(20%)、平常点(20%)						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	ジョブパス試験概要・期待される社会人、職業人を目指して			試験対策、キャリア形成の基本的考え方の習得			
2	【第1編】 第1章 キャリアと仕事へのアプローチ			働く意識・仕事への取り組み方を理解			
3	第2章 仕事の基本となる8つの意識／顧客意識			お客さま満足度を高める必要性と行動の理解			
4	第2章 仕事の基本となる8つの意識／品質意識・納期意識・時間意識			顧客意識を中心とした7つの意識の理解			
5	第2章 仕事の基本となる8つの意識／目標意識・協調意識・改善意識・コスト意識			顧客意識を中心とした7つの意識の理解			
6	第3章 コミュニケーションの基本			社会人としてのコミュニケーションの重要性を理解			
7	第3章 ビジネスマナーの基本			身だしなみ、出社から退社までの各種ルールを理解			
8	第4章 指示の受け方と報告			仕事の指示の受け方と完了した時点での報告の要点			
9	第4章 連絡・相談の仕方と、忠告の受け方			社内外での連携で必要な各種手段と要点の理解			
10	第5章 話し方のポイント			ビジネスの場にふさわしい話し方、正しい敬語の習得			
11	第5章 聞き方のポイント			聞く・聴く・訊くちからの習得			
12	第6章 来客対応の基本マナー			来客対応の基本、お客様案内の仕方、茶菓対応等理解			
13	第6章 訪問の基本マナー			名刺交換、紹介の仕方、訪問の基本を理解			
14	第7章 会社関係でのつきあい			会食マナー、冠婚葬祭の基本を理解			
15	前期末試験			ジョブパス検定3級レベルの筆記試験で習熟度確認			
16	【第2編】 第1章 仕事への取り組み方			スケジュール管理等、正確で計画的な進め方			
17	第1章 パソコンは仕事の基本・電子メールの活用			パソコン活用での要点と注意点の確認			
18	第2章 ビジネス文書の基本・社内文書			社内文書の種類と基本的構成の理解			
19	第2章 ビジネス文書の基本・社外文書			社外文書の種類と基本的構成、郵便の理解			
20	第3章 電話対応 電話の受け方・取り継ぎ方			固定電話の使い方から、電話での言葉遣いの理解			
21	第3章 電話対応 電話のかけ方・携帯電話のマナー			ロールプレイングを通して電話対応の実践を身につける			
22	第4章 統計・データの読み方・まとめ方			表・グラフの役割と特徴、活用方法を理解			
23	第5章 情報収集とメディアの活用 情報の取捨選択・インターネットからの情報収集			情報収集の手段と各特徴の理解			
24	第5章 情報収集とメディアの活用 新聞からの情報収集			新聞の特徴と種類、新聞の読み方の理解			
25	第6章 会社を取り巻く環境と経済の基本			日本経済の基本構造と変化を理解			
26	ビジネス用語の基本			社会人として押さえておきたいビジネス用語を正確に理解			
27	ビジネス能力検定3級試験対策1			過去問題を通して理解度を確認			
28	ビジネス能力検定3級試験対策2			過去問題を通して理解度を確認			
29	ビジネス能力検定3級試験対策3			過去問題を通して理解度を確認			
30	学年末試験			ジョブパス検定3級レベルの筆記試験で習熟度確認			

授業科目名	音楽理論		担当者名	内ヶ崎雅人			
			実務経験	ヤマハ東北地区A&Rディレクター経験後、作編曲等、エンジニアなど			
教科書	・配布資料(プリント、PDF)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数					
		60					
授業概要	楽譜、コード、リズムなどの音楽理論。音楽ジャンルや楽器の知識など、音楽業界で必要な基礎となる音楽知識を学ぶ。						
学習到達目標	音楽業界で仕事するために必要な楽器や音楽知識を修得します。簡単な譜面の読み書きを理解する。音楽ジャンルや歴史、著作権等を幅広く理解する。音楽を聴いたり、楽器を使って耳で理解できるよう指導します。						
評価方法	出席率・課題取組・試験の結果を総合評価						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	各楽器の名称の理解、説明			J-pop等で使用する基本的な楽器の名称や、簡単な説明			
2	五線譜の見方、音部記号の見方、音名			譜面、音階を読むための記号の説明			
3	音符の見方、リズム符の見方			譜面、音階を読むための記号の説明			
4	リズム譜の作成法、採符法			リズム譜を理解、作成させます。			
5	リズム譜の採符法①			基本的なドラムやビートを理解できるようにします。			
6	リハーサル記号の名称、理解			曲の基本的な構成や組み立て方を理解できるようにします。			
7	コード譜作成法、ラフな構成譜の作成①			バンドで演奏、レコーディングなど 実践的な譜面を作らせる。			
8	音程について 調号(♭、♯記号)			音と音の間隔や組み合わせを説明します。			
9	2音間の音程について(P1、P4、aug4 etc)			基本的な和音やハーモニーについて説明します			
10	メジャースケールについて			長音階について、ピアノとギターで説明します。			
11	マイナースケールについて			短音階について、ピアノとギターで説明します。			
12	各調号におけるメジャー、マイナースケール			各調とスケールの関係性、聞こえ方について説明します。			
13	トライアドコードについて			基本的な3和音を覚える			
14	前期末試験対策授業			前期の復習			
15	前期末試験			筆記試験			
16	4和音について(7thコード)			4和音のしくみや、組み合わせを知る。			
17	メジャーダイアトニックコードについて			ダイアトニックコードを理解し、どのような働きかを理解する。			
18	音楽ジャンル①			クラシック音楽、管弦楽、吹奏楽、室内楽			
19	音楽ジャンル②			日本、中国、インドの音楽、楽器			
20	音楽ジャンル③			アフリカ、イタリア、スペインの音楽、楽器			
21	音楽ジャンル④			ロシア、ドイツ、スイスの音楽、楽器			
22	音楽ジャンル⑤			南米、ラテン音楽、ハワイの音楽、楽器			
23	楽器について①			楽器の構造や奏法、音域、音色を理解。管楽器など			
24	楽器について②			楽器の構造や奏法、音域、音色を理解。ギターなど			
25	構成譜作成			曲を聴いて簡単な、構成を作成。曲の展開などを理解。			
26	ランキングチャートについて			現在のチャートから流行、ヒットする実例の紹介。			
27	音楽プロモーション			音楽どのようにして発信するかを説明をします。			
28	音律について			時代によって考えられた音律を理解します。			
29	後期末試験対策授業			後期の復習			
30	後期末試験 本番			筆記、リスニング試験			

授業科目名	電気音響概論		担当者名	内ヶ崎雅人			
			実務経験	ヤマハ東北地区A&Rディレクター経験後、作編曲等、エンジニアなど			
教科書	・配布資料(プリント、PDF)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
	・音響映像設備マニュアル2025年改訂版	4					
		時間数 60	ミュージックスタッフ科	1年	通年	必修	講義
授業概要	音響機材や照明機材で使用する電気の基礎(直流・交流)を理解 専門課程で使用される機材の役割と、近年使用されている機材役割の理解。ケーブル及びマイクなどの構造の理解						
学習到達目標	目に見えない危険な電気なので安全に使用する為にも、基礎的な直流・交流の違いや、素子の働きを理解させる。機材の構造や近年使用されている機材を実体験を交えながら説明し理解させる						
評価方法	出席率・課題取組・試験の結果を総合評価						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	授業の進め方について						
2	強電、弱電、直流交流について			基礎的な電気の知識について説明します。			
3	発電の仕組み、電磁誘導			義務教育で習ったものの復習を含め、現状の電気の背景も説明			
4	フレミングの法則、直流回路図			電気の力の向きと直流交流の仕組みを説明			
5	オームの法則、電力の計算			抵抗について、計算と電力の計算を復習します。			
6	直列接続、並列接続、ケーブルのプラグについて			スピーカーを例にし直列、並列接続とプラグについて説明をします。			
7	バランス回路、アンバランス回路について			ケーブルの仕組みと理由を説明、現場での扱い方を理解する。			
8	マイクロフォンについて			ダイナミックマイク、コンデンサーマイクの仕組みを説明します。			
9	指向性、周波数特性について			マイクなどの指向性、周波数特性について説明します。			
10	音の伝わる仕組み、音の3要素			聴覚の仕組み、音の聞こえ方などふまえ、音速や音の3要素を説明			
11	音のエンベロープについて			音の立ち上がり、減衰について説明し、楽器の発音特性などを理解します。			
12	音場、音の屈折、回折			音の進み方、聞こえ方現象を説明			
13	音響心理とその効果			ラウドネス効果、騒音など人が感じる音響効果を説明。			
14	前期末試験対策授業			前期の復習			
15	前期末試験			筆記試験			
16	デジタルの基礎			アナログ方式、デジタル方式について2進数、16進数の計算			
17	デジタルオーディオの基礎			デジタルオーディオのフォーマットや録音方式など			
18	さまざまな音楽パッケージ、配信、立体音響など			現在の音楽シーンなどのメディア、音響方式			
19	抵抗器、カラーコード、ジュールの法則について			カラーコードの計算、ジュールの計算を理解			
20	コンデンサ			コンデンサの仕組みを理解			
21	導体の抵抗			ケーブルの動体の抵抗の計算、仕組みを理解			
22	合成静電容量			合成静電容量の直列、並列計算			
23	総合問題			今までの復習を兼ねて計算問題を解けるようにする			
24	インダクタ、トランス			直流・交流の違いを確認させ、どんな場合にコイルなのか、トランスなのかを理解させる			
25	交流電力の最大値、平均値、実行値			交流の仕組みを理解する			
26	皮層、有効、消費電力			電力の仕組みを理解する			
27	エフェクター①イコライザーについて			エフェクターの仕組み、EQを説明			
28	エフェクター②コンプレッサーについて			エフェクターの仕組み、コンプレッサー			
29	後期末試験対策授業			後期の復習			
30	後期末試験 本番			筆記、リスニング試験			

授業科目名	照明概論		担当者名	柴成美			
			実務経験	現場経験歴15年以上			
教科書	舞台・テレビジョン照明	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数 60					
ミュージックスタッフ	1年	通年	必修	講義・実習			
授業概要	1,劇場・舞台機構と照明器具紹介と実演 2,図面の見方(基本と応用)・光と色の仕組み 3,舞台照明の1日の仕事・作業の流れ						
学習到達目標	1,講義を通して舞台照明の世界と仕事を「知る」「記録・記憶する」そして「理解」し成果・結果を出す 2,知り得た情報を実践で積極的に試し挑む心と備えの育成 総合して、多くの情報を得て実践に役立てる参考材料として講義を上手く利用活用し、理解を深め試験・進級を目指す						
評価方法	出席率・筆記試験						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	前期授業内容の説明と自己表現			講義内容の把握と自己評価の分析			
2	業界の挨拶と服装、劇場の種類について			働く環境の情報を得て視野・興味を広げる			
3	舞台機構について			舞台設備の情報を知り興味を与える			
4	照明器具の取り扱い「説明」「実演」①			種類と独自の効果を知る 用途別に作業選択の向上を目指す			
5							
6							
7							
8	照明器具の取り扱いについて「説明」と「実演」②			特殊器具の種類・特徴と用途別選択向上			
9							
10	照明器具「付属器具」についての「説明」と「実演」			器具に取り付けるアクセサリーの種類を知る			
11							
12	仕込み図(基本)			図面を読み考察・行動に活かす			
13	舞台用語と光の名称			舞台を演出する名のある光を知る			
14	前期末筆記試験			結果と成果を位置づける			
15	前期末試験結果の発表と見直し・分析			後期の課題目標を定める			
16	仕込み図(応用)			許容量と電気回路について知る			
17	許容電力・電流/種類と用途			ケーブル・コネクタの種類と用途別への理解			
18	光と色①			日本の製品を知る			
19	光と色②			海外の製品、光と眼の構造の仕組みの理解			
20	光と色の三原色			光と色の関係性と創造性の向上			
21	舞台における照明の仕事			実際の現場での流れと結び付ける			
22	舞台における照明の仕事「作業時の初動」			準備・積込みに必要な心得と安全管理			
23				会場環境の把握と作業工程の理解			
24	舞台における照明の仕事「作業時の手順」			明り合わせの種類を知り手順と流れを理解			
25				行動力の促進を図る			
26	舞台における照明の仕事「明り作りとりハーサル」			舞台・演者・技術者の関係性を考える			
27							
28	舞台における照明の仕事「本番と撤去」			ポジションの役割情報を知り備える 舞台を観る心得の理解			
29	後期末筆記試験			結果と成果を試す覚悟で挑む姿勢			
30	後期末試験結果の発表と見直し・分析			来年への目標と自己分析			

授業科目名	イベントプロデュース演習		担当者名	関口 修			
			実務経験	舞台監督・イベント制作に携わり30年の経験がある。			
教科書	・配布資料(プリント／データ)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数 60					
授業概要	イベント、コンサートに必要なプロセスや資料作成、運営のノウハウを学ぶ。 企画書作成に必要な能力養成、想像力、プレゼン力の向上を図る。 エンターテインメント業界に必要な基本知識、常識をみにつける。						
学習到達目標	イベントの成り立ち、構成スタッフの役割の理解。企画作成に必要な能力を助成する。 自分が思い描くイメージを、書類としてどのように伝えたらよいか方法を見出す。						
評価方法	出席率・授業に取り組む様子・課題提出・期末試験						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション(講師経歴紹介)			授業内容説明・スタッフとしての心構え			
2	名義の意味と役割			イベントを企画する上での組織の構図			
3	スタッフ間の役割 制作編			組織での制作の役割を理解する			
4	スタッフ間の役割 音響・照明・舞台美術編			組織での各スタッフ間の役割を理解する			
5	リハーサルの種類			様々なリハーサルの特徴を理解する			
6	中間ミニテスト①			全5回の講義内容の理解度の確認と解説			
7	楽器の基礎知識(エレキギターとギターアンプ)			スタッフとして楽器の基礎知識を身に着ける			
8	楽器の基礎知識(ベースギター)						
9	楽器の基礎知識(ドラム)						
10	楽器の基礎知識(ドラムセットの組み上げ実習)						
11	中間ミニテスト①			楽器の基礎知識 理解度の確認と解説			
12	リスクマネジメント 安全安心			現場で起きた事故の紹介と対策			
13	様々なイベントの演出動画紹介			世界で実施されている演出の紹介			
14	前期講義のまとめ			前期講義の復習			
15	前期テスト			前期講義の理解度を確認			
16	前期テスト 復習			前期テストの解答と解説			
17	企画書作成実習 基礎(オリジナルLIVE企画)			企画書の成り立ちを理解			
18				企画立案における情報収集と裏付け作業			
19				PCにて企画書の作成(PC・ソフト操作指導)			
20							
21							
22							
23							
24							
25	最終確認 課題提出			企画書のブラッシュアップとプレゼン対策			
26	提出課題のプレゼンと解説			無作為に選出された企画書をクラス内にてプレゼン			
27	D-POP2025			2年生制作の卒業制作を解説			
28	後期講義のまとめ			後期講義のまとめ			
29	後期テスト			後期講義の理解度を確認			
30	後期テストの復習			後期テストの解答と解説			

授業科目名	舞台美術実習(1)		担当者名	木 村 芳 孝			
			実務経験	テレビ、舞台美術40年の実務経験			
教科書	講師作成プリント	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	ミュージックスタッフ	1年	通年	必修	講義・実習
授業概要	テレビ、舞台美術の基礎の実体験を伝え、実習を行うことにより教科書や理論では得られない実践型授業とする。						
学習到達目標	基礎知識を理解習得し、実現場体験(実習)を遂行出来る基礎的力を習得させる。また卒業後には即戦力となるべく人材を育てる。						
評価方法	期末テスト、課題提出、実習取り組み姿勢、出席率等を総合的に判断して評価する。						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	舞台美術とは			舞台美術を必要とする分野と理由…			
2	舞台の歴史、劇場の種類と形式			劇場、ホールについての基本的知識			
3	テレビ、舞台の制作現場の組織			業界現場のスタッフ構成と各役割			
4	舞台機構の名称と役割（各種図面配布）			舞台業界の基礎知識、国家試験の必要知識			
5	バトンの名称と役割（各種図面配布）			舞台現場に必要不可欠な知識			
6	幕の名称と役割						
7	尺貫法						
8	舞台の基礎大道具の名称と役割（各種図面配布）						
9	実習 台組の基本（平台、箱馬）			実物に触れ、組込みを体験する			
10	積木で遊ぶ 台組の基本（ミニチュアを使用）			ミニチュアを使って様々な台組を考える			
11	舞台美術の装備及び工具と安全管理			安全管理の知識			
12	企画から公演までの仕事			美術部門の具体的な仕事の流れ			
13	図面を読む ～ 図面の基礎			美術部門のみならず舞監、照明部門にも必要な知識			
14	図面を作成する（平面図を見て正面図を作成）			舞台美術に必要な図面を理解する			
15	前期テスト			図面作成含む			
16	実習 巨大迷路を組む			舞台美術に興味を持たせるために…			
17	実習 幕の吊り方、バトンにロープを結ぶ			吊り方、結び方、たたみ方等の実習			
18	実習 バトン操作			プロ以外禁止されている作業の体験			
19	幕と場			芝居の流れを考える			
20	幕と場（芝居「桃太郎」）			童話桃太郎を学芸会用にデザインする			
21	実習 大道具製作（3×6パネル）			大道具作りを体験する			
22							
23	図面を作成する（平面図を見て投影図を作成）			前期図面のレベルアップ			
24	D-POP鑑賞			次年度専攻の参考に？			
25	迷路を作る（図面～模型）			模型製作は舞台美術に必要な事項			
26	図面練習 or 模型製作 （自己選択で）			図面は後期テストに含む 迷路図、模型は課題評価対象とする			
27							
28							
29							
30	後期テスト			図面作成含む			

授業科目名	映像編集実習		担当者名	田村康晴			
			実務経験	株式会社東北記録映画社20年以上実務経験			
教科書	・サンプル映像素材	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
	・サンプル音源等	2					
	・PremierePro&AfterEffects	時間数 60	ミュージックスタッフ科	1年	通年	必修	講義・実習
授業概要	映像編集ソフト・Adobeプレミアを使用し、編集の基本を習得し、映像分野の楽しさを重視する。 特にミュージックビデオ・ライブビデオの編集を行い、ミュージックスタッフ科としての習得の幅を広げる。						
学習到達目標	CM制作、ミュージックビデオ・ライブビデオを中心に、感性・感覚を身につけ、映像分野の楽しさと難しさを感じる。						
評価方法	出席率、授業意欲、課題提出、期末試験						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	自己紹介 映像の世界とは			自己紹介			
2	映像の世界・ミュージックビデオの世界			映像の世界 講義			
3	映像編集・Adobeプレミアプロの基本操作			premiereソフトの基本			
4	映像編集・Adobeプレミアプロの基本操作			premiereソフトの基本			
5	映像編集・Adobeプレミアプロの基本操作			premiereソフトの基本			
6	CM制作 5分の映像を30秒に編集する実施			premiere実践			
7	CM制作 5分の映像を30秒に編集する実施			premiere実践			
8	CM制作 5分の映像を30秒に編集する実施			premiere実践			
9	CM制作 5分の映像を30秒に編集する実施			premiere実践			
10	CM制作 5分の映像を30秒に編集する実施			premiere実践			
11	試写会・総評			総評			
12	CM制作 5分の映像を30秒に編集する実施②			premiere実践②			
13	CM制作 5分の映像を30秒に編集する実施②			premiere実践②			
14	CM制作 5分の映像を30秒に編集する実施②			premiere実践②			
15	前期テスト			実技テスト			
16	CM制作 5分の映像を30秒に編集する実施②			premiere実践②			
17	CM制作 5分の映像を30秒に編集する実施②			premiere実践②			
18	試写会・総評			総評			
19	ライブ映像編集 講義 カメラの構図・取り方等			音楽ライブの編集方法講義			
20	ライブ映像編集 実習 ライブ編集のやり方実践			音楽ライブの編集実習			
21	ライブ映像編集 実習			音楽ライブの編集実習			
22	ライブ映像編集 実習 歌詞テロップのつけ方			音楽ライブの編集実習			
23	ライブ映像編集 実習 エフェクトのつけ方			音楽ライブの編集実習			
24	ライブ映像編集 実習			音楽ライブの編集実習			
25	試写会			試写会			
26	CM制作 5分の映像を30秒に編集する実施③			premiere 最終まとめ			
27	CM制作 5分の映像を30秒に編集する実施③			premiere 最終まとめ			
28	CM制作 5分の映像を30秒に編集する実施③			premiere 最終まとめ			
29	試写会			全体試写会・総評			
30	後期テスト			実技テスト			

授業科目名	PA・SR実習(1)		担当者名	石田 拓			
			実務経験	舞台音響の会社で3年勤務			
教科書	・音響映像設備マニュアル ・配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数					
		120					
			ミュージックスタッフ科	1年	通年	必修	実習
授業概要	実技を中心とした授業内容を展開。要所では板書を用いて回路理解等を促す。外部実習へ参加するための基礎作りが目標となり、理解だけではなく実際の立ち回りを習慣化させるために少数でのグループワークも積極的に実施していく。						
学習到達目標	1. 機材セッティングおよび接続を迅速に行える回路理解を身に着ける 2. 安全な音出し操作を学び、音響補正技術(音つくり)を学び始める準備を行う						
評価方法	出席・レポート・課題取組・発表・試験の結果を総合評価						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	機材紹介／ケーブル巻きの習得／マイクスタンドの扱い方			1年間実習を行う環境を把握する			
2	スタンドスピーカーの設置方法/電源の理解			安全な持ち上げ方、複数人での取り組み方を理解			
3	ミキシングコンソールの基本操作説明/マイクからスピーカーまでの各種機材の理解、結線			ミキシングコンソールの基本機能を理解し、その後の音出し手順習得へ繋げる			
4	CDデッキの基本操作説明/小規模セッティングの復習			業務用CDデッキの基本操作・設定の説明			
5	小規模セッティングの復習②(一人で言う)/スピーカーの平行接続について/パワーアンプ使用方法の応用編			セッティングを行い、これまで自分が担当できなかった仕組みも理解			
6	様々なミキシングコンソールを理解する/音出し操作の習得(stereo LR)			名称の違いや操作性の違いがあるため、様々なミキサーを理解する			
7	音出し操作の習得②(minitor SP)/プリフェーダーポストフェーダー			音出し操作の復習及び、新たにモニタースピーカーを足して操作を習得する			
8	接続～音出し操作の復習/リバーブマシンの説明			リバーマシンの設置および操作を習得			
9	仕込み図の読み方と書き方/仕込み図を参考にしたセッティング練習			配線番号や設置方法が記載されている仕込み図の読み解きと書き方を習得。			
10	中規模スピーカーの構造理解とセッティング及び音出し方法			これまで使用してきたスピーカーとは構造が違うスピーカーの理解を深める			
11	楽器のセッティング方法/中規模セッティングへの移行			Drセットの組み立て方法やGtrアンプ、Baアンプの扱い方を習得。			
12	連絡回線(TB、Hotline)の考え方、接続方法、操作方法			相手のミキサーに信号を送る際にどのような点に注意が必要かを理解			
13	複数個所での信号伝送			連絡回線で学んだ信号伝送の応用編。より複雑な回路での信号伝送に挑戦			
14	前期末試験対策授業			これまで学んできた内容を復習し、どこまで理解しているかをチェック			
15	前期末試験			マイクケーブル巻き／機材のセッティング／結線／ミキサー操作			
16	各種エフェクターの操作方法及びインサート接続について			各種エフェクターを使用する意味を理解。その後、操作方法を学ぶ。			
17	チャンネルデバイスの原理を理解/チャンネルバイダーを使用したマルチウェイシステムの構築			これまでのフルレンジシステムとの違い、メリットデメリットを理解。			
18	houseセクションとmonitorセクションの違い/monitorセクションのセッティングと注意事項について			分業にするとどのようなのかをレクチャー。メリットデメリットを理解する。			
19	houseセクションとmonitorセクションの違い②/monitorセクションのセッティングと注意事項について②			monitorセクションに特化した説明。			
20	中規模システムのセッティング(復習)			グループごとに実際にセッティングしてみる。時間と正確さ目標とする。			
21	チューニングについて			なぜチューニングが必要なのかを理解する。チューニング方法をレクチャー			
22	チューニングについて②/デジタルミキサーの理解			アナログミキサーとデジタルミキサーの違いを理解。			
23	デジタルミキサーの操作方法			デジタルミキサーの操作方法を習得			
24	メーターによるレベル監視の違いについて			アナログで採用されているVUとデジタルで採用されているpeakの違いを理解			
25	自分たちで出演者を想定した仕込み図作りおよびセッティング			自分たちで仕込み図をつくる。			
26	ライブイベント実施の準備①			年度末に行う進級ライブに向けての準備			
27	ライブイベント実施の準備②			出来上がった仕込み図を基にセッティング			
28	後期末試験 対策授業①			1年間で習得してきた内容を実際の試験に近い形で実習			
29	後期末試験 対策授業②			1年間で習得してきた内容を実際の試験に近い形で実習			
30	後期末試験						

授業科目名	レコーディング実習(1)		担当者名	伊藤 司			
			実務経験	(有)音屋で8年勤務・フリーランスエンジニアとして7年活動 平成29年(株)サウンテックスを設立 8年経営の経験がある			
教科書	PROTOOLS11software徹底操作ガイド 配布資料	単位数 4	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		時間数 120					
			ミュージックスタッフ科	1年	通年	必修	実習
授業概要	録音における、音響機器の「操作」「機能」「仕組み」「活用法」の基礎を学ぶ。 様々な作品制作を実践し、制作現場で必要とされるスキルを身につける。						
学習到達目標	レコーディングの現場で必要とされる技術と知識の基礎を習得する。 録音機器の基礎を理解し、作品制作での活用法を習得する。						
評価方法	出席・課題提出・試験(9月・2月)の結果を総合評価						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	【オリエンテーション】制作現場でのレコーディングエンジニアの役割について			レコーディングエンジニアの業務と必要なスキルについて学ぶ			
2	【レコーディングの流れ】集音から録音までの信号の流れと各機材の役割について			録音までの工程を仕組みを理解する			
3	【マイクロフォンの基礎】マイクロフォンの仕組・種類や特性について学ぶ			音声を信号に変換する仕組みと特性を理解する			
4	【マイキングの基礎】エレキギターの録音方法を学ぶ			音源とマイクの距離や角度によっての音の違いについて理解する			
5	【マイキングの基礎】図ルチマイクでのドラムの録音方法を学ぶ			位相、カブリによての音絵の影響を理解しマイキング技術を習得する			
6	【配線の基礎①1/2】機材の接続方法とパッチベイについて			機材の接続方法をパッチベイの構造を理解する			
7	【配線の基礎②2/2】機材の接続方法とパッチベイについて			機材の接続方法をパッチベイの構造を理解する			
8	【ミキシングコンソールの基礎】ミキシングコンソールの各部名称と機能について学ぶ			インラインコンソールを理解する			
9	【ミキシングコンソールの基礎】チャンネルモジュールの構成と名称、機能を学ぶ			各部の名称と役割を理解する			
10	【PROTOOLSの基礎】DAWソフトprotocolsの機能と各種設定を学ぶ			初期設定方法や新規セッションの作成を習得する。			
11	【PROTOOLSの基礎】オーディオフォーマットの違いによる音違いを学ぶ			デジタルオーディオフォーマットを理解する			
12	【PROTOOLSの基礎】インターフェースと内部パッチを学ぶ			protocols内部設定とインターフェースの関係を理解する			
13	【AUXとCUEBOXについて】AUX(補助出力)機能とCUBOXでのモニターについて学ぶ			AUX期を理解し、モニターの回路を理解する			
14	【録音方法】protocolsでの録音の手順と再生ポイントへのロケート方法を学ぶ			録音の作業の工程を理解し、録音で留意するポイントを認識する			
15	前期試験			実技試験で前期に行った内容の理解度を確認する			
16	【ボーカル録音方法】テイクの管理方法とテイクの修正を学ぶ			プレイリスト機能の活用法とパンチインでの修正技術を習得する			
17	【パンチインでの修正方法】演奏ミス部分をクイックパンチモードで修正する方法を学ぶ			ミステイクの修正方法を習得する			
18	【ミキシングの基礎①】EQを使用した音色の調整を学ぶ			EQの使い方とパラメーターを理解する			
19	【ミキシングの基礎②】ミキシングにおける空間演出を学ぶ			リバーブの効果や使い方を理解し距離感の演出を理解する			
20	【ミキシングの基礎③】ミックスダウンでのプラグインの活用法と音像の構築を実践から学ぶ			ミックスダウンでの作業工程を理解する			
21	【作品制作①1/2】グループごとに企画する作品のプランニング。			発想力と企画力を養い作品制作で求められる技術を理解する			
22	【作品制作②2/2】グループごとに企画する作品のプランニング。			発想力と企画力を養い作品制作で求められる技術を理解する			
23	【作品制作③】企画に必要な素材の準備			企画内容に沿った録音方法や作業のプランの立て方を理解する			
24	【作品制作④1/2】作品のプリダクション			試作品をもとに改善点を検討			
25	【作品制作⑤2/2】作品のプリダクション			試作品をもとに改善点を検討			
26	【作品制作⑥1/2】作品の本録音			完成を見据えた収録を試し想像力を養う			
27	【作品制作⑦2/2】作品の本録音			完成を見据えた収録を試し想像力を養う			
28	【作品制作⑧1/2】作品の仕上げと発表			作品制作についてのディスカッションを通じて作品の意図の伝わり方やその表現方法の違いを学ぶ			
29	【作品制作⑨2/2】作品の仕上げと発表			作品制作についてのディスカッションを通じて作品の意図の伝わり方やその表現方法の違いを学ぶ			
30	後期試験			実技試験で習得した技術、知識を再確認する			

授業科目名	Pro Tools実習(1)		担当者名	佐々木 朋義			
			実務経験	コンポーザー、ギタリスト			
教科書	・配布資料(PDF、プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
	・ProTools11徹底操作ガイド	2					
		時間数	通年	1年	通年	必修	実習
		60					
授業概要	音楽制作ソフト『ProTools』の基本と知識を学ぶ。						
学習到達目標	1、音楽制作ソフト『ProTools』の扱い方を学び、基本的な編集方法を身につける。 2、音楽業界で使用される事が多い、『Mac』の扱い方にも慣れておく。 3、ラジオ番組制作における編集作業の基礎を身につける。						
評価方法	出席率、課題提出、実技試験。						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	自己紹介とProToolsについて。 ProToolsについて。			Macの起動と操作方法。ProTools立ち上げ。			
2	Macの起動とProTools立ち上げ。			ProToolsの基本的な使用方法と波形再生の習得。			
3	波形のインポートと2mix素材の編集①			波形のインポートと切り取り編集を行ショートカットキーを理解する。			
4	2mix素材の編集②			前回インポートした波形を、よりタイミングを重視して繋ぐ方法を学ぶ。			
5	2mix素材の編集③			複数の楽曲を繋ぎ、つなぎ目の処理を習得する。			
6	2mix素材の編集④			編集をより扱いやすくする為のツールを使い分けを学ぶ。			
7	クリックに合わせた編集①			クリックに合った素材を用いて、小節管理された素材を理解する。			
8	クリックに合わせた編集②			前回の素材を使用し、音楽的に仕上げる方法を習得する。			
9	クリックに合わせた編集③			キメやエフェクターを用いた編集の習得。			
10	クリックに合わせた編集④			バウンスmixの習得。			
11	エフェクター解説講座①			各エフェクターの解説と使用方法。			
12	エフェクター解説講座②			各エフェクターの解説。使用方法と定番セッティング。			
13	前期試験対策						
14	前期試験						
15	前期試験解説						
16	テンポ検出①			テンポ検出の方法を学ぶ。			
17	テンポ検出②			前回のデータを使用しての編集。			
18	声の編集①			声を実際に録音する方法(レコーディング)の体験。			
19	声の編集②			声素材の編集。			
20	ラジオ制作①			声素材と音楽素材を用いた編集の習得1。			
21	ラジオ制作②			声素材と音楽素材を用いた編集の習得2。			
22	ラジオ制作③			上記編集素材のミックスダウン処理を習得。			
23	バンドMix①			パラデータ波形を使用してのMix方法1。			
24	バンドMix②			パラデータ波形を使用してのMix方法2。			
25	バンドMix③			パラデータ波形を使用してのMix方法3。			
26	バンドMix④とバウンス			パラデータ波形を使用してのMix方法とバウンス。			
27	カラオケ制作			カラオケ音源を使用してのデータ作成。			
28	後期試験対策						
29	後期試験						
30	後期試験解説						

授業科目名	舞台機構対策講座(1)		担当者名	佐々木 朋義			
			実務経験	コンポーザー、ギタリスト			
教科書	舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数 60	ミュージックスタッフ	1年	通年	必修	講義
授業概要	①舞台機構調整技能士3級対策授業②楽器・作曲家・音楽ジャンルなど、幅広く音楽の知識を身につける。③実際の試験を想定した練習問題に取り組む。						
学習到達目標	・3級各要素試験の問題を解く事ができるようになる。 ・過去問題集を理解した上で解く事ができる知識を身につける。						
評価方法	出席率、定期試験						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	イントロダクション			授業概要説明。			
2	楽器の知識1			60種類の楽器。			
3	楽器の知識2			わかりづらい楽器の解説1。			
4	楽器の知識3			わかりづらい楽器の解説2。			
5	楽器の知識4			エレキ楽器(ギター、ベース)について解説。			
6	楽器の知識5			鍵盤楽器の種類について。			
7	楽器の知識6			弦楽器の種類について。			
8	楽器の知識7			金管楽器の種類について。			
9	楽器の知識8			木管楽器の種類について。			
10	楽器の知識9			打楽器について。			
11	楽器の知識10			似ている楽器の解説。			
12	リスニング問題			要素問題についての解説。			
13	前期試験対策						
14	前期試験						
15	前期試験解説						
16	楽器の知識12			民族楽器1			
17	楽器の知識13			民族楽器2			
18	過去問題集1			正誤だけでなく理由を理解する。			
19	過去問題集2			過去問。2Mix素材を用いた要素問題に慣れる。			
20	過去問題集3			過去問。2Mix素材を用いた要素問題に理解する。			
21	過去問題集4			過去問。パラ音源素材を用いた要素問題に慣れる。			
22	過去問題集5			過去問。パラ音源素材を用いた要素問題に慣れる。			
23	過去問題集6			過去問。パラ音源素材を用いた要素問題に理解する。			
24	過去問題集7			過去問。単発音素材を用いた要素問題に慣れる。			
25	過去問題集8			過去問。単発音素材を用いた要素問題に理解する。			
26	曲と作曲家とジャンル1			様々は音楽を知る 作曲家と音楽を知る			
27	曲と作曲家とジャンル2			様々は音楽を知る 作曲家と音楽を知る			
28	後期試験の説明						
29	後期試験						
30	後期試験解説						

授業科目名	キャリアデザイン(2)		担当者名	石田 拓								
			実務経験	舞台音響の会社で3年勤務								
教科書	・専門学校生のための 就職内定基本テキスト	単位数 4	学科	学年	学期	科目種別	授業方法					
	・一問一答！一般常識問題集	時間数						ミュージックスタッフ科	1年	通年	必修	実習
		60										
授業概要	卒業年度生に対し、働くことへの理解を深め、企業から内定をもらうためのビジネスマナーを身につける。											
学習到達目標	就職決定とビジネスマナーの習得											
評価方法	出席率、レポート提出											
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など								
1	働くとは・・・			働く事への理解と動機づけ								
2	履歴書の記載 ・ 個人面談(1)			働く事への理解と動機づけ								
3	履歴書の記載 ・ 個人面談(2)			働く事への理解と動機づけ								
4	履歴書の記載 ・ 個人面談(3)			履歴書の完成								
5	自己分析① 過去を振り返り現在の時間を知る			履歴書の完成								
6	自己分析② 将来の自分を考える			履歴書の完成								
7	自己分析③ 自分の適性を知る			分析シートの提出								
8	求人検索＋面接練習(1)			分析シートの提出								
9	求人検索＋面接練習(2)			分析シートの提出								
10	求人検索＋面接練習(3)			面接の対応力								
11	メール、文書、応募書類の記載方法 電話のかけ方(1)			個人面談								
12	メール、文書、応募書類の記載方法 電話のかけ方(2)			個人面談								
13	メール、文書、応募書類の記載方法 電話のかけ方(3)			個人面談								
14	メール、文書、応募書類の記載方法 電話のかけ方(4)			個人面談								
15	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(1)			個人面談								
16	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(2)			個人面談								
17	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(3)			個人面談								
18	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(4)			個人面談								
19	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(5)			個人面談								
20	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(6)			個人面談								
21	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(7)			個人面談								
22	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(8)			個人面談								
23	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(9)			個人面談								
24	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(10)			個人面談								
25	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(11)			個人面談								
26	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(12)			個人面談								
27	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(13)			個人面談								
28	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(14)			個人面談								
29	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(15)			個人面談								
30	求人への応募 (内定者は入社準備、新生活の準備等々)(16)			個人面談								

授業科目名	舞台機構調整技能講座(2)		担当者名	石田 拓			
			実務経験	音響会社での実務経験あり			
教科書	・舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
	舞台機構調整技能士3級	8					
	・配布資料(プリント)	時間数					
		120	ミュージックスタッフ科	2年	前期	必修	講義・実習
授業概要	①要素試験を対象の授業 VTRや色々な音源を使い、実際の試験に沿った授業を行い、冷静に音を聞き分ける力を持たせる。 ②実技試験・作業試験受験対策 機材の正しい操作方法を学び、操作する技術を習得する。						
学習到達目標	国家資格 舞台機構調整 音響調整 3級 の 取得						
評価方法	出席率、授業ごとのテストの成績、期末試験						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	舞台機構調整とは			どのような資格で、なんのプラスになるか			
2	試験はどのような内容なのか			範囲を知る			
3	楽器1			木管楽器・金管楽器・弦楽器・打楽器			
4	楽器2			音の出る仕組み。 シングルリード等			
5	楽器3・編成・ジャンルと楽器			オーケストラ・フルバンド・地方等			
6	楽器4・構造・分類			不思議な楽器と形状の不思議			
7	楽器5・国と楽器			音色の違いと構造・演奏方法			
8	音の変化とバランス			音量の変化や音色の違い・音の正しいを知る			
9	作曲者を知る (曲名と作曲者名)①			クラシック・童謡・等範囲が広いため、			
10	作曲者を知る (曲名と作曲者名)②			世界で有名な作曲者を学ぶ			
11	チェック 実際の試験のように選択肢より答えを選び点数を知る。			改めて楽器の音と、映像と名前を確認する			
12	音のバランス			音楽を聴き、標準音と問題音の違いを当てる			
13	音の変化			音質・移送・定位・雑音等に気がつくか			
14	総合的な試験1			合格点が取れているか			
15	仕上げ 要素試験と筆記試験(どれだけできているか)			国家試験			

				※事務局使用				MS2-19			
授業科目名	舞台演出実習A			担当者名	前沢健二						
				実務経験	ラジオラジオ番組・イベント制作に携わり30年の経験						
教科書	・配布資料(プリント)		単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法			
			4								
			時間数								
			120								
授業概要	舞台演出に必要なプロセスや資料作成、ノウハウを実践する。企画書やスケジュール、台本作成を行う。 実際に様々な角度から演出、制作を行う。										
学習到達目標	イベントの企画コンセプトにもとづき、自分たちが目指した内容に到達できるよう他スタッフとお互いに理解しあい成功を目指す。										
評価方法	出席率、授業態度等で総合評価										
週数	授 業 内 容				到達目標・学習課題など						
1	概要説明				企画概要と企画内容を理解する						
2	企画書作成				コンセプトについて理解し模索						
3	企画書作成②				コンセプトについて理解し模索						
4					コンセプトにもとづきタイトル案の検討						
5	企画書作成③				企画に関する情報収集						
6					チームで意見をまとめて資料の作成						
7	企画書作成④				企画に関する情報収集						
8					チームで意見をまとめ、資料作成						
9	企画書作成⑤				企画に関する情報収集						
10					チームで意見をまとめ、資料作成						
11	企画書作成⑥				チームで意見をまとめ、資料作成						
12					資料作成、発表準備						
13	企画書作成⑦				チームで意見をまとめ、資料作成						
14					資料作成、発表準備						
15	企画書発表				プレゼンテーション実施、考察						
16	概要説明、企画書作成				企画概要と企画内容を理解する						
17	企画書作成				コンセプトについて理解し模索						
18					コンセプトにもとづきタイトル案の検討						
19	企画書作成②				企画に関する情報収集						
20					チームで意見をまとめて、資料の作成						
21	企画書作成③				企画に関する情報収集						
22					チームで意見をまとめて、資料の作成						
23	企画書作成④				企画に関する情報収集						
24					チームで意見をまとめて資料の作成						
25	企画書作成⑤				チームで意見をまとめて、資料作成						
26					資料作成、発表準備						
27	企画書作成⑥				チームで意見をまとめて、資料作成						
28					資料作成、発表準備						
29	企画書発表				プレゼンテーション実施、考察						
30											

授業科目名	エンターテインメントビジネス		担当者名	佐々木 憲司			
			実務経験	ソニーミュージックにて長年音楽業界に携わる			
教科書	音楽著作権ビジネスのすべて	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数 60					
授業概要	テキスト、業界のデータや新聞記事等を活用した説明と、後期はテキストを使った講義						
学習到達目標	著作権に対する理解、音楽業界全体の知識習得、進路の目標確立						
評価方法	課題提出による採点、出席率						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	自己紹介、講義内容説明、アンケート等			授業スケジュールの確認			
2	CDの中味、音楽著作権の常識テスト			基礎知識の確認			
3	TV視聴率、マスコミの系列、業界規模等			TV業界についての基礎知識を学ぶ			
4	映画業界、映画白書			映画業界の現状について学ぶ			
5	広告業界、代理店ビジネスと白書			広告業とCMについてのビジネスを学ぶ			
6	アーティストの肖像権			肖像権に間する基礎知識を学ぶ			
7	プロダクション・ビジネス			マネージメント業についての知識を学ぶ			
8	音楽出版社ビジネス			出版業者のビジネスについての基礎を学ぶ			
9	マーチャンダイジング・ビジネス			グッズビジネス、ファンクラブに関する知識を得る			
10	レコード会社の仕事、プロデューサーの仕事			プロデューサーの役割と仕事について			
11	再販制度、リクーポン・ライン等の中味			再販CDと損益分岐についてを学ぶ			
12	宣伝予算、新人アーティストの宣伝プラン			新人発掘の仕事について			
13	著作権、印税、JASRAC問題			著作権や税金に関して実例をもとに研究			
14	返品制度、景表法、タイアップ等			タイアップによる広報効果について学ぶ			
15	アニメの歴史、映画製作/前期末試験			アニメの歴史、映画製作について			
16	放送と音楽著作権			放送使用料、放送用録音使用料について学ぶ			
17	レコード製作者と二次使用料			二次使用料の法律について学ぶ			
18	レコード製作者と二次使用料			二次使用料のついて学ぶ			
19	CMと著作権			CMに利用する際の権利について学ぶ			
20	ゲーム音楽と著作権			ゲームソフトにおける権利について学ぶ			
21	カラオケと著作権			カラオケの楽曲データの権利について学ぶ			
22	ライブ演奏と著作権			コンサートホール・ライブハウスでの演奏権使用料について学ぶ			
23	音楽配信と著作権1			音楽配信にかかる権利について考える			
24	音楽配信と著作権1			音楽配信にかかる権利について考える			
25	音楽配信と著作権2			サブスクリプション・サービスについて学ぶ			
26	音楽配信と著作権3			動画配信サービスにおける著作について学ぶ			
27	パブリシティ権1			パブリシティ権について学ぶ			
28	パブリシティ権2			過去に問題となった実例を元にパブリシティ権について学ぶ			
29	パブリシティ権2			過去に問題となった実例を元にパブリシティ権について学ぶ			
30	後期試験			レポート作成			

授業科目名	コンサートプロデュース実習		担当者名	関口 修			
			実務経験	舞台監督・イベント制作に携わり30年の経験がある。			
教科書	・配布資料(プリント/データ)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		11					
		時間数 330					
			ミュージックスタッフ科	2年	通年	必修	講義・実習
授業概要	イベント、コンサートに必要なプロセスや資料作成、運営のノウハウを実践する。組織づくり、会議の進め方、企画書やスケジュール、台本作成を行う。卒業制作のD-POPにおいては、企画立案、全体の統括、演出、運営を行う。						
学習到達目標	イベントコンセプトにもとづき、自分たちが目指した内容に到達できるよう他スタッフとお互いに理解しあい成功を目指す。						
評価方法	出席・授業に取り組む様子・積極的な発言・イベント実習における貢献度・期末試験						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	卒業制作イベントに必要な作業の確認と年間のスケジュール確認			卒業制作へ向けて問題点の確認			
2	卒業制作 出演者選出会議			積極的な制作会議への参加			
3	卒業制作 出演者選出会議			積極的な制作会議への参加			
4	実務における役割分担			指示系統・組織づくり			
5	実務における役割分担			指示系統・組織づくり			
6	卒業制作 出演者決定			積極的な制作会議への参加			
7	卒業制作 企画書作成			テーマ・コンセプト確立への積極的な参加			
8	卒業制作 企画書・実施具体書作成			実務可能な内容の模索			
9	卒業制作 演出会議			具体的な演出案の模索			
10	卒業制作 運営マニュアル・広報活動			各担当者の詳細な活動計画策定			
11	卒業制作 運営マニュアル・広報活動			各担当者の詳細な活動計画策定			
12	卒業制作 運営マニュアル・広報活動			各担当者の詳細な活動計画策定			
13	卒業制作 運営マニュアル・広報活動			各担当者の詳細な活動計画策定			
14	前期作業進捗会議			運営の問題点の解決と対策			
15	前期テスト			イベント企画における理解度を確認・解説			
16	卒業制作 運営会議			現状と問題点の確認			
17	卒業制作 演出会議			出演順・演出内容など詳細な内容検討			
18	卒業制作 スケジュール調整			各コース・出演者・施設などのマネージメント			
19	卒業制作 台本作成・広報活動・ロゴ・ポスター			担当分けによる各作業を遂行			
20	卒業制作 マニュアル作成			運営に必要な情報のとりまとめ			
21	卒業制作 出演者打合せ			出演者との確認作業			
22	卒業制作 来場者対策			入場方法や注意点などの再確認や案内			
23	卒業制作 運営会議			各資料の仕上作業			
24	卒業制作 運営会議			各資料の仕上作業			
25	卒業制作 運営最終会議			各コースとの最終調整			
26	卒業制作 最終確認			全ての資料の仕上と最終シミュレーション			
27	卒業制作 本番実習			各自責任と課題への達成を目指す			
28	卒業制作 実施報告書作成			開催の成果を検証 今年度の活動をデータと書類に整理 来年度に向けた問題点の確認			
29							
30	学年末テスト			イベント制作における理解度を確認・解説			

授業科目名	プロモーション演習		担当者名	田村康晴			
			実務経験	株式会社東北記録映画社20年以上実務経験			
教科書	・サンプル映像素材	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
	・サンプル音源等	8					
	・PremierePro&AfterEffects	時間数 120					
授業概要	企画・構成・脚本・絵コンテ、映像・写真を使用した撮影、及び編集実習を通し、映像制作全般を学ぶ。 インターネット動画、CM制作等の制作実習を中心に実施する。						
学習到達目標	映像制作の基盤となる「発想力」、映像撮影・編集の基本技術力を習得する。						
評価方法	出席率、授業意欲、課題提出、期末試験						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	企画・構成・脚本について			映像制作の流れ講義			
2	CM制作30秒制作			premiere映像実習			
3	用意した素材のCM編集実習 1年生時からの総復習			premiere映像実習②			
4	プレゼン・作品視聴会			試写会			
5	ライブ編集実習① カメラ構図について			卒業生撮影のライブ編集実習			
6	ライブ編集実習① カット割り			卒業生撮影のライブ編集実習			
7	ライブ編集実習① エフェクト			卒業生撮影のライブ編集実習			
8	ライブ編集実習① 歌詞打ち込み			卒業生撮影のライブ編集実習			
9	ライブ編集実習① 試写会			試写会			
10	CM用写真撮影実習＆講義			写真撮影実習			
11	CM用写真撮影実習＆講義 一眼レフを使用した撮影実習			写真撮影実習			
12	CM用編集実習 撮影素材・フォトショップの活用			撮影素材を使用した編集実習			
13	CM用編集実習 写真素材を使用した編集方法			撮影素材を使用した編集実習			
14	試写会			全体試写会・総評			
15	前期テスト			実技テスト			
16	AfterEffects実習＆イラストレーター① アニメの動かし方			AfterEffects実習			
17	AfterEffects実習＆イラストレーター② 動画のエフェクトのつけ方			AfterEffects実習			
18	AfterEffects実習＆イラストレーター③ 実践1			AfterEffects実習			
19	AfterEffects実習＆イラストレーター④ 実践2			AfterEffects実習			
20	映画予告オープニング映像制作 実際の映画と同じものを作る1			AfterEffects実習			
21	映画予告オープニング映像制作 実際の映画と同じものを作る2			AfterEffects実習			
22	映画予告オープニング映像制作 実際の映画と同じものを作る3			AfterEffects実習			
23	映画予告オープニング映像制作 実際の映画と同じものを作る4			AfterEffects実習			
24	試写会			試写会			
25	ライブ編集実習②			卒業生撮影のライブ編集実習②			
26	ライブ編集実習②			卒業生撮影のライブ編集実習②			
27	ライブ編集実習②			卒業生撮影のライブ編集実習②			
28	ライブ編集実習②			卒業生撮影のライブ編集実習②			
29	試写会			全体試写会・総評			
30	後期テスト			実技テスト			

授業科目名	舞台演出実習B		担当者名	柴成美			
			実務経験	現場経験15年以上			
教科書	舞台・テレビジョン照明	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数	ミュージックスタッフ	2年	通年	必修選択	講義・実習
		120					
授業概要	ライトの構造・特性の理解を深める実習。舞台装置を意識した明かり・空間創りの課題演出 照明概論の内容を更に深掘した応用講義						
学習到達目標	作品のイメージを自らの考えと探究心を持って実行し実演を目指す 作品・舞台を創る上でのグループワーク・連携・協調性と個性の尊重 観客を楽しませる表現者、芸術家への意識を高め、技術知識向上と結果と成果につなげる						
評価方法	出席率、課題提出、筆記試験、演出力と表現力						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	講義内容についての説明・課題演出「自己表現」			内容の理解と探究・自己表現			
2	文化・劇場に関する法律・自己表現発表会			文化芸術への興味・クラス交流と構築			
3	劇場の種類と成り立ち・運営制度について			管理制度の概要と課題への探究			
4							
5	照明器具の製造・メーカーについて			器具の構造を調べ、理解と探究を図る			
6	公演に携わる者たち・課題「機材リスト作成」			部署ごとの役割への理解 資料作りの大切さへの理解と実行			
7							
8							
9							
10	課題演出・企画・デザイン			グループワーク・個人の尊重と協力性を図る			
11							
12	課題演出・プランニング						
13				結果と成果・自己分析			
14	前期末実技試験						
15	前期末筆記試験						
16	上演芸術の起源と歴史			日本・海外文化の成立への関心度向上を目指す			
17							
18	ヨーロッパ由来の上演芸術			最古の演劇・バレエについて知る			
19							
20	日本古来の上演芸術			伝統芸能の多様化・継承・育成について			
21				文化に興味を持ち、働く環境への意欲促進			
22	舞台を演出するまでの流れ			芸術家とサポートチームの関係性			
23				本番までの下見と作品創りに触れる			
24	課題演出①			企画・製作を行う			
25							
26	課題演出②			デザインとプランを立てる			
27							
28	課題演出③			実験と検証・完成発表を目指す			
29							
30	後期末筆記試験			結果と成果・自己分析			

授業科目名	PA・SR実習(2)		担当者名	石田 拓			
			実務経験	舞台音響の会社で3年勤務			
教科書	・音響映像設備マニュアル ・配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		14					
		時間数					
		420	ミュージックスタッフ科	2年	通年	必修	実習
授業概要	実習を通して機器の設置、使用法、ステージワーク、オペレーションをおこなう。						
学習到達目標	コンサート・イベント等における仕込みから調整、本番、撤収までの一連のルーティンワークの習得。 個々の楽器の音作りの基礎、音量、音質、バランス感覚を身に付ける。コンサートスタッフとしてのコミュニケーション能力、協調性を養う。						
評価方法	出席率 実習の取り組み 実技試験 の総合評価						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション			業界の形態と目標とする業種、到達点の確認			
2	デジタルミキサー(1)			デジタル伝送の理解、セッティング方			
3	デジタルミキサー(2)			基本的な使用・運用法			
4	FOHスピーカー(1)			指向性・エリアマネジメントの理解、機器の設置配線			
5	FOHスピーカー(2)			チューニング基礎			
6	FOHスピーカー(3)			SmaartLive、LAKEを使用した高度なチューニング方			
7	MONITERスピーカー(1)			指向性・エリアマネジメントの理解、機器の設置配線			
8	MONITERスピーカー(2)			チューニング基礎			
9	ステージワーク(1)			仕込み図の理解、仕込み～回線チェック			
10	ステージワーク(2)			回線の分岐の理解、転換作業			
11	サウンドチェック(1)			マイクの選定とマイキング			
12	サウンドチェック(2)			各楽器の単音作り			
13	サウンドチェック(3)			モニターフィードバック			
14	サウンドチェック(4)			エフェクター基礎			
15	前期末試験						
16	プランニング			システム及び回線プランニング、資料作成			
17	ワイヤレスマイク			ラジオマイクの基礎、多チャンネルプラン			
18	オペレーション実践			TalkMicの調整、SE・BGMのCUE出し・フェーダー操作			
19	サウンドチェック実践(1)			フルバンドのオペレートの習得 デジタルミキサーの高度な活用			
20	サウンドチェック実践(2)						
21	サウンドチェック実践(3)						
22	サウンドチェック実践(4)						
23	サウンドチェック実践(5)						
24	卒業制作コンサート実践(1)			1つのショーを通してのプランニング PAセクションとして遅延無く作業がおこなえる 演者、観客とも満足度の高いオペレートがおこなえる			
25	卒業制作コンサート実践(2)						
26	卒業制作コンサート実践(3)						
27	卒業制作コンサート実践(4)						
28	卒業制作コンサート実践(5)						
29	卒業制作コンサート実践(6)						
30	後期末試験						

授業科目名	音響概論(2)		担当者名	石田 拓			
			実務経験	舞台音響の会社で3年勤務			
教科書	・音響映像設備マニュアル	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数 120					
			ミュージックスタッフ科	2年	通年	選択	講義
授業概要	あらゆる音が必要とされる業界を理解する。音響はもちろん業界ごとの規格・機材の違い・目的や立場の違いを知る。						
学習到達目標	設備や機材の資料の理解力をもつ。出来れば図面等の資料を製作する知識をもつ。						
評価方法	出席率・毎時間に行う試験・資料の理解力を試すためにイベント企画させそのイベント用のPAプランの、資料を作成させ評価する。						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	音とは			情報の入り口			
2	音業界			伝える力			
3	音のない世界			伝わらない			
4	音の必要性			変わる情報			
5	出す音・録る音・出る音・入ってくる音・入れない音①			音との付き合い方 音響等			
6	出す音・録る音・出る音・入ってくる音・入れない音②			録音 ノイズ			
7	出す音・録る音・出る音・入ってくる音・入れない音③			録音 ノイズ			
8	出す音・録る音・出る音・入ってくる音・入れない音④			取材・ENG 現場対応			
9	出す音・録る音・出る音・入ってくる音・入れない音⑤			ホールcc (クラシック用のコンサートホール)NC値			
10	仮設/常設			1から10まで(電源から雨対策まで)			
11	持ち込み機材			常設とのマッチング (打ち合わせの必要性)			
12	機材の規格			業界ごとの規格			
13	名称と業界ごとの中身の違い			機材の個性			
14	良い機材と悪い機材			良い機材とは？			
15	前期試験			前期試験			
16	目的と機材			スペースや電源の制限			
17	マイクロフォン			自分が良いと思うものと、			
18	スピーカー			目的に合わせたシステム選び、 置き場所等も			
19	ミキサー			今と今後・将来の増設 流行りとブランド志向			
20	パワーアンプ			出力と設定・消費電力を考える			
21	ケーブル			露出の場合と埋設の場合			
22	コネクタ			業界と仮設等の互換性を			
23	デジタル・アナログ			音で選ぶか操作性で選ぶか？			
24	システムの考え方			目的をはっきりさせる			
25	設備のワイヤリング			他の設備との関係			
26	電源・消防法・電波法等の厳守			許可・申請・不可・			
27	メインテナンス・保守(トラブルを起こした機材のチェックと原因を調べ、今後に生かす)			目的と予算・操作性・等			
28	音響設備の設計をしてみよう (必要な情報とは？)			目的を作る。広さ・内容・時間・予算等			
29	評価・修正・提出 (機材などの知識がないと、選択肢がなく、ワンパターンになる)			全体を網羅しているか、目的は、？			
30	優秀設計の開示・ 全員のプランを各自が評価・良い点・修正が必要な点を伝える			提出物を評価。 年度未成績			

授業科目名	JAPRS SR検定対策		担当者名	比留川純夫			
			実務経験	1976音響会社勤務～1985年音響会社(有限会社音屋設立)、業務内容(レコーディング、PA)			
教科書	S.R概論 最新年度版	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
	日本音楽スタジオ協会発行	4					
	問題集 技術資料集	時間数	ミュージックスタッフ科	2年	前期	必修	講義・実習
	プリント配布	60					
授業概要	JAPRS(日本音楽スタジオ協会)が実施する「サウンドレコーディング技術認定試験」の高レベル認定証の交付を目指す。						
学習到達目標	音楽業界の制作現場スタッフとして必要な知識を習得する。特にレコーディングスタジオでは当検定のランクを重視している現状もあり全員B以上、レコーディング専攻クラスはAを目指しそれを目指す。						
評価方法	サウンドレコーディング技術認定試験ランク参考及び出席率						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	サウンドレコーディング技術概論 1章			音響の基礎を理解する。			
2	サウンドレコーディング技術概論 2章			音響物理の基礎理解する。			
3	サウンドレコーディング技術概論 3章			電気音響の基礎を理解する。			
4	技術資料集			電気の基礎知識を修得する。			
5	サウンドレコーディング技術概論 4章			スタジオシステム 室内音響 について理解する。			
6	サウンドレコーディング技術概論 4章			音響設計ガイドブックを参考にスタジオ全般を理解する。			
7	サウンドレコーディング技術概論 4章			スタジオシステム 信号伝送について理解する。			
8	サウンドレコーディング技術概論 4章			マイクロフォンについて理解する。			
9	サウンドレコーディング技術概論 4章			ミキシングコンソールについて理解する。			
10	サウンドレコーディング技術概論 4章			エフェクターについて理解する。			
11	サウンドレコーディング技術概論 4章			テープレコーダーについて理解 修得する。			
12	サウンドレコーディング技術概論 4章			モニタースピーカーについて理解 修得する。			
13	サウンドレコーディング技術概論 4章			規格表 スペック表の読み方を理解する。			
14	技術資料集			定番の音響機器について知る。			
15	前期末試験						

授業科目名	JAPRS PT検定対策		担当者名	比留川純夫			
			実務経験	1976音響会社勤務～1985年音響会社(有限会社音屋設立)、業務内容(レコーディング、PA)			
教科書	ProTools技術認定問題集最新	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
	日本音楽スタジオ協会発行	4					
	問題集 技術資料集	時間数					
	プリント配布	60					
ミュージックスタッフ科	2年	前期	必修	講義・実習			
授業概要	JAPRS(日本音楽スタジオ協会)が実施する「ProTools技術認定試験」高レベル認定証の交付を目指す。						
学習到達目標	音声編集ソフト「ProTools」は現在レコーディングに限らず映画M.Aなどで使用されそのオペレート技術は音声制作編集スタッフの必須となっている、特にレコーディングスタジオではproTools検定のランクを重視している現状もあり全員B以上、レコーディング専攻クラスはAを目指しそれを目標とする。						
評価方法	ProTools技術認定試験ランク参考及び出席率						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	Protools 概要			ProTools誕生に至るまでの経緯や基本動作について知る。			
2	セッションとトラック			大元となる『セッション』とはなにか、音データを立ち上げる『トラック』とはなにかを理解する。			
3	録音			最大録音数や録音作業時の注意点を知る。			
4	編集			集時の表示から読み取る内容や操作方法を修得する。			
5	ミキシングの基礎			ミックス時のショートカットや入力出力の基本を理解する。			
6	プラグイン			音に付加するエフェクト効果を司るプラグインの種類を知る。			
7	オートメーション			時間軸に合わせ自動変化するオートメーションの基本を理解する。			
8	ミックスダウン			編集後の最終工程に関する注意事項を理解する。			
9	シンク・MIDI・ファイル管理			外部機器とのシンクや行う時の注意点を認識する。			
10	セッションデータのインポート／エクスポート			インポート＝取り込み。エクスポート＝掃出し。それぞれの基本的な考え方を理解する。			
11	ファイルの管理と互換性			ファイル管理の注意点を修得する。			
12	MIDI			MIDIの基本を理解する。			
13	用語集			スタジオ用語を修得する。			
14	過去問 2021年～2024年			最終チェックを行い理解不足な点を洗い出す。			
15	前期末試験						

授業科目名	レコーディング実習(2)		担当者名	比留川純夫			
			実務経験	1976音響会社勤務～1985年音響会社(有限会社音屋設立)、業務内容(レコーディング、PA)			
教科書	適時　プリント配布	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		14					
		時間数 420					
			ミュージックスタッフ科	2年	通年	必修	講義・実習
授業概要	レコーディングスタジオ、映像制作、M.Aスタジオ等マルチメディアを取り巻く環境は今デジタルメディアに対応する能力が求められる。動画制作及び音楽配信等の先進DVD-Audio,SACD,音声画像圧縮展開等、様々なデジタル技術を理解しその対応を習得する。						
学習到達目標	先進の録音機器のオペレーションする技術、動画配信アプリのオペレート、スタジオにおけるコミュニケーション能力、音楽知識、そして音楽とテクノロジーの融合の時代に働く「人としての能力」を身につける。						
評価方法	出席率、ProTools操作技術、コミュニケーション能力、積極性、作品クオリティー、試験の結果で評価						
週数	授　業　内　容			到達目標・学習課題など			
1	電源　機材概要　ブース　について			現代音楽と電気の関係性、録音機材、ブース、以上3点について理解を深め、実習への取り組みかたを知る。			
2	作業環境整備			あらゆるシーンを想定してフォーマットを作りスタジオ業務の効率化を図るため制作物について理解し、言動を的確に判断できるようにする。			
3	楽器の知識　マイクの特性　マイキング-1			pf,AG,EB,GA以上4点の収録方法を学びマイク選定、マイキングを的確に判断できるようになる。			
4	楽器の知識　マイクの特性　マイキング-2			Dr,Va,per,cho(複数人一発録音)以上4点の収録方法を学びマイク選定、マイキングを早く的確に判断できるようにする。			
5	制作側クライアントとの打ち合わせシュミレーション-1			クライアント、アーティスト、が目指してるものを把握し制作者の一員であることの自覚を身につける。			
6	制作側クライアントとの打ち合わせシュミレーション-2			スケジュールを含めマイク選定等積極的に提言できるようにする。			
7	ProTools基本操作1			制作物により適正なフォーマットでのセッション作成の判断ができるようになる。			
8	ProTools基本操作2			録音→再生→修正　の手順をストレスなくオペレートできるようにする。			
9	ProTools応用編1			録音→再生→高度な修正→波形編集　の手順をストレスなくオペレートできるようにする。			
10	ProTools応用編2			録音→再生→より高度な修正(特殊パンチン)　録音→高度な波形編集　の手順をストレスなくオペレートできるようにする。			
11	録音　再生　特にモニターバランス　音量を体感する			レコーディング時のモニターバランスの良し悪しが作品のクオリティーに影響することを実際に演者立ち位置で体験し認識する。			
12	録音　再生　特にモニターバランス　音量を体感する　ラージモニタースピーカー			レコーディング時、演者返しの2ミックスバランスを素早く作る、さらにラージモニターを使用し、あらゆる環境においても再生音に不具合がない音作りを習得する。			
13	音源に対するマイク選定			音源の周波数特性とアーティストが目指す音を素早く把握し的確なマイク選定及び演奏環境作りを授業経験を基にあらゆる視点で判断できるようにする。			
14	楽譜の読み方			楽譜、または楽曲構成表の見方及び現場用語を身につけ、スタジオワークをスムーズに進めることができるようになる。			
15	前期末試験						
16	プレイリストの活用			テイクの扱いについての方法を習得する。現場ではプレイリストの活用は必須である、それを理解し的確に判断及び操作ができるようになる。			
17	オーバーダビング及び直し1　同日の場合			楽器のオーバーダビング。(Gt　Ba　等、弦楽器系の波形を考慮し的確な処理ができるようになる。)			
18	オーバーダビング及び直し1　同日の場合			楽器のオーバーダビング。(Pf　key　等、鍵盤楽器系の波形を考慮し的確な処理ができるようになる。)			
19	オーバーダビング及び直し2　別日の場合			歌系オーバーダビング1。(Vo　等、歌詞カード及びマーカ付けの重要性を理解し歌系の波形を考慮し的確な対応、処理ができるようになる。)			
20	オーバーダビング及び直し2　別日の場合			歌系オーバーダビング2。(choユニゾン　字ハモ　及びウーアー系　等、歌系の波形を考慮し的確な処理ができるようになる。)			
21	ミックスダウン1			バランスの基本について理解し、プラグイン及びアウトボードの効果的な使用ができるようになる。			
22	ミックスダウン2			定位の基本、ステレオ　モノラルの場合　について理解する。			
23	ミックスダウン3			イコライザー　コンプレッサーの各パラメーターの動作を理解し、快適なサウンドを創る判断ができる耳を作る。			
24	マスタリング			実習で制作した素材を基にマスタリングを体験する。(マスタリングの重要性を理解し実際の工程及びコツを知る。)			
25	ライブレコーディング　配信用動画制作　1			D-POP PROJECTION(コンサートイベント)の収録のための機材選定。			
26	ライブレコーディング　配信用動画制作　2			D-POP PROJECTION(コンサートイベント)の収録。オンマイク収録におけるP.Aセクションとのマイクの共有を認識し他セクションとの共同作業の問題点、進め方を見る。			
27	ライブレコーディング　配信用動画制作　3			D-POP PROJECTION(コンサートイベント)の収録。オフマイク			
28	ライブレコーディング　配信用動画制作　4			D-POP PROJECTION(コンサートイベント)本書のリハーサル、ゲネプロへの組みを実践。			
29	ライブレコーディング　配信用動画制作　5			D-POP PROJECTION(コンサートイベント)本書収録、機器の誤作動への対応を身につける。			
30	後期末試験						

授業科目名	MA実習		担当者名	田村康晴			
			実務経験	株式会社東北記録映画社20年以上実務経験			
教科書	・サンプル映像素材 ・サンプル音源等 ・PremierePro&AfterEffects	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数 120					
授業概要	企画・構成・脚本・絵コンテ、映像と音声を使用したビデオ撮影、及び音声編集実習を通し、映像制作の音声を中心に学ぶ。ラジオCMなど制作等で、MA制作実習を中心に実施する。						
学習到達目標	映像の音制作の基盤となる「感性力」、映像撮影の音声技術・音編集のMA基本技術力を習得する。						
評価方法	出席率、授業意欲、課題提出、期末試験						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	MAについて・MAの仕事とは・映像制作の過程			MA仕事の基本講義			
2	ライブカメラ機材の講義			カメラ機材の扱い方			
3	CMの音入れ込み実習1 音楽・効果音のつけ方			SE・効果音・音楽素材を使用したMA実習			
4	CMの音入れ込み実習2 イコライザーを使用した音の変化			SE・効果音・音楽素材を使用したMA実習			
5	CMの音入れ込み実習3 音のバランス			SE・効果音・音楽素材を使用したMA実習			
6	プレゼン・作品試写会・総評			全体試写会・総評			
7	効果音・SE制作 収録機を使用した音作り			様々な道具を使用した音源制作			
8	効果音・SE制作 収録機を使用した音作り			様々な道具を使用した音源制作			
9	ラジオCM収録実習 MA実習 音楽・効果音のオールミックス作業			制作した音源を使用したMA実習			
10	ラジオCM収録実習 MA実習 音楽・効果音のオールミックス作業			制作した音源を使用したMA実習			
11	ラジオCM収録実習 試写会			全体試写会・総評			
12	映画予告CM映像 SE編集 ナレーションを使用したオールミックス			プロの音源を参考にしたMA制作			
13	映画予告CM映像 SE編集 ナレーションを使用したオールミックス			プロの音源を参考にしたMA制作			
14	映画予告CM映像 試写会			全体試写会・総評			
15	前期テスト			実技テスト			
16	映画予告CM映像2 ピークメーター・VUメーター・ラウドネスメーター			プロの音源を参考にしたMA制作2			
17	映画予告CM映像2 テレビ用想定 音源制作			プロの音源を参考にしたMA制作2			
18	映画予告CM映像2 効果音編集			制作した音源を使用したMA実習			
19	映画予告CM映像2 効果音編集			制作した音源を使用したMA実習			
20	映画予告CM映像2 効果音編集			制作した音源を使用したMA実習			
21	映画予告CM映像2 試写会			全体試写会・総評			
22	企業用サウンドロゴ用 アニメーション作成			企業ロゴ制作(Photoshop使用)			
23	企業用サウンドロゴ制作 オリジナル音源制作			それぞれが作った企業ロゴの音源当て制作			
24	企業用サウンドロゴ制作 オリジナル音源制作			それぞれが作った企業ロゴの音源当て制作			
25	企業用サウンドロゴ制作 オリジナル音源制作			それぞれが作った企業ロゴの音源当て制作			
26	企業用サウンドロゴ制作 完成試写会			全体試写会・総評			
27	プロ用MA素材 同様仕上げ実習			プロの音源に限りなく近づけるMA実技の集大成			
28	プロ用MA素材 同様仕上げ実習			プロの音源に限りなく近づけるMA実技の集大成			
29	プロ用MA素材 同様仕上げ実習 試写会			全体試写会・総評			
30	後期テスト			実技テスト			

授業科目名	ステージライティング実習(2)		担当者名	佐藤新			
			実務経験	株式会社 東北共立にて舞台照明、テレビ照明(26年)			
教科書	コンサートライティング入門 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		14					
		時間数 420	ミュージックスタッフ科	2年	通年	必修選択	実習
授業概要	舞台照明の理論と実技を学ぶ。 照明機材の安全な操作方法、様々な灯具の光の特性を活かした効果的な演出方法を取得する。 コンサートホール、ライブハウス、野外特設ステージなどあらゆる場所で実習を行い現場で求められる技術力、対応力を身につける。						
学習到達目標	実習で学んだ照明の知識と技術をより実践的に使い更なる向上を目的とする。 自己表現や対人力を身につけ舞台制作が遂行出来る力をつける事を目標とする。						
評価方法	出席率、実習の取り組み方、課題提出、期末試験の結果を総合評価						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	学校にある一般照明、LEDライト、ムービングライトの取り扱い、仕込み、撤去の仕方			様々な灯具の理解、安全な取り扱い方の説明			
2	灯具の配線の仕方、電気の容量などについて(強電、弱電)			仕込み、撤去の際に事故防止の安全な作業の理解			
3	スプリッター、DMXワイヤレスについて			DMX信号の流れを理解する			
4	仕込みから回路取り、仮シースト、本シーストの実践			実践的な流れの中での作業が出来るようにする			
5	照明卓の使い方について説明、実際に卓を触って操作方法の説明			卓を触れて調光卓について理解を深める			
6	ムービングライト、LEDライトのエフェクトの作成、修正について			調光卓のより実践的な使用方法を身につける			
7	実際のコンサートやお芝居などの仕込み図面を参照しながらどの様に視覚的な演出をしているかを説明			様々な仕込み図面などを参照して照明効果などを理解する			
8	仕込み図面の作成方法の仕方、PINSPOTの使用法について			PCでの仕込み図面を作成出来る PINSPOTを思ったように操作出来る			
9	課題曲での仕込みから明かり作り、PINSPOT操作			調光とPINをしっかりと合わせる事を理解する			
10							
11	ライブハウスでの照明実習			D-POPでの会場となる場所で実習をして色々な経験値を得る			
12	PINSPOTのQだしについて			曲を身体で覚えるという事 小節を数えながら相手にQを出せる			
13	前期課題曲でグループ内での照明プランからプログラム調光操作			自分のプランニング通り出来たか 出来なければその理由を考える			
14							
15	※前期末試験						
16	調光卓での打ち込み等について (D-POPチーフ、サブチーフ決め)			自分が思うように操作が出来る			
17	様々なホール、ライブハウス、野外特設ステージに出向いて照明実習 音楽ホールや野外特設ステージの舞台機構などを説明			様々なホールを使用して、より現場に近い環境での経験値を得る事			
18							
19	後期課題曲での照明プランニング			課題曲から自分で照明プランからプログラムまで出来る			
20	D-POP校内リハーサルに向けての仕込み図面作成 フェーダー表作成、D-POP本番でのポジション決め確認			照明図面を作成し学生達での検証確認 問題点の確認			
21							
22	校内リハーサルに向けての仕込み段取り確認 Qシート作成、卓での打ち込み、修正等について			頭の中で明かりを作る事 Qシート作成と修正			
23	校内リハーサル本番。それぞれ担当場所での役割確認			本番を想定しながら自分の役割を理解し任務を遂行出来る			
24	仙台PITでのD-POPに向けての実習。本番会場での仕込みから演出までの総合的な実習をする			本番会場での実習により表現力や創造性を養う事が出来る			
25							
26	D-POP本番、PINSPOTオペレート、卓オペレートの仕方確認			自分の思う照明を表現出来る			
27	綱元操作方法など様々な舞台機構などを説明			舞台機構の使い方を理解する			
28	学生達による照明プランと調光オペレート			受講してきた事の集大成として 舞台照明をより楽しむことが出来る			
29							
30	※後期末試験						

授業科目名	舞台照明プランニング実習		担当者名	石川智英			
			実務経験	全国コンサートツアーオペレーター			
教科書	コンサートライティング入門	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
	電気技術講義テキスト	4					
	配布資料	時間数					
		120					
授業概要	照明プランニングの概要の習得と電気技術の基礎知識の習得						
学習到達目標	照明プランの作成と照明家協会2級試験合格程度(電気技術)の実力の習得						
評価方法	出席率 授業態度 期末試験 レポートによる考査 総合評価						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	コンサートライティング入門 スタッフの1日			1日の業務内容 仕込みから撤収作業まで			
2	制作会社 プロダクションの紹介 就職ガイダンス 資料の配布			照明制作プロダクション会社の紹介			
3	光の性質 方向による表現 光の制御コントロールによる表現			照明の性質を理解してもらう			
4	光の色についての表現 カラーフィルター 色温度の変化について			基礎となる色とその表現を具体的に説明			
5	各演目によるライティングデザインの考え方 舞踊(洋舞 日舞)コンサート TV			参考課題による映像の紹介レポート課題			
6	図面作成に至るまでの手順 Qシート作成 図面作成 フェーダー表/データ作成			曲による図面作成の課題			
7	図面作成に至るまでの手順 Qシート作成 図面作成 フェーダー表/データ作成			台本によるデータ作成の課題			
8	曲を提供してのQシートの作成とデーター作成			Qが的確かどうか			
9	曲を提供してのQシートの作成とデーター作成			データの表現が的確かどうか			
10	歌詞の表現から照明プランの作成			起承転結の構成データの作成がポイント			
11	台本 台詞から読み取れる照明プランの作成			場面の变化 構成を考えてもらう事			
12	今現在の照明プランの実例			演出プランの習得			
13	演出空間において特殊効果器具について紹介			レーザー 映像LEDとの効果			
14	テレビ照明による表現方法			照度と輝度の知識の習得			
15	テレビ照明による表現方法 実技 色温度の使い方			実技			
16	安全管理			配布資料			
17	制御信号 DMX512について			配布資料			
18	照明家協会2級試験の問題			配布資料			
19	映像に見る配信における照明のプランについて			配布資料			
20	前期末 年度末試験の実施			評価対象			
21	電気の歴史、電気の基礎、			オームの法則など説明できること			
22	演出空間照明家に求められる資格			電気の取扱いに必要な資格について理解してもらう			
23	世界の電圧と周波数について			日本の電圧、周波数を説明できること			
24	照明設備電源 電源方式 中性線 負荷バランスについて			電源方式を説明できること			
25	電源コード コードの選択について			各種許容範囲内の電源コードの説明			
26	演出用空間配線器具と制御について			使用できる電線について理解してもらう事			
27	照明設備について プラグ アダプタ と接地の重要性について			100V 200Vの形状について理解			
28	仮設照明設備について 発電機 ジェネレーターの説明			発電機から照明卓までの設置方法			
29	電気事故 ノイズ障害 漏電など様々なトラブルについての説明と対策発電機 実技説明			傾向と対策を理解すること因スターに使い方 電気容量確認			
30	学期末試験			総合評価			

授業科目名	舞台美術実習(2)		担当者名	木 村 芳 孝			
			実務経験	テレビ、舞台美術40年の実務経験			
教科書	講師作成プリント	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		14					
		時間数 420	ミュージックスタッフ科	2年	通年	必修選択	講義・実習
授業概要	テレビ、舞台美術の基礎の実体験を伝え、実習を行うことにより教科書や理論では得られない実践型授業とする。						
学習到達目標	基礎知識を理解習得し、実現場体験(実習)を遂行出来る基礎的力を習得させる。また卒業後には即戦力となるべく人材を育てる。						
評価方法	課題評価(制作物)、実習取り組み姿勢、出席率等を総合的に判断して評価する。						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	作業の基本 ・ 工具、電動工具の使い方と安全管理			工具の使い方の習得と安全作業の必要性			
2	作業の基本 ・ 製作材料と消耗品について			材料の種類、名称、寸法を知る			
3	製作作業 ・ 基本パネル(3×6)パネルの製作			一年生での製作の復習			
4	製作作業 ・ 経師作業			パネル作業の応用			
5	製作作業 ・ 工房で必要な物品(廃材収納BOX)を作る			必要な物は自分で作る			
6	製作作業 ・ 応用パネル(3×8, 4×6)パネルの製作			基本パネル(3×6)の応用製作			
7	体験作業 ・ 6Fステージの保守点検作業(階段、框塗装他)			実舞台の保守の実際の体験			
8	作業実習 ・ パネルの繋と立て方			基本パネルの組み合わせと繋ぎ			
9	舞台実習 ・ 吊り物作業(バトンの基本)			一年生の実習復習とレベルアップ			
10	舞台実習 ・ 吊り物作業(幕の吊り方)			一年生の実習復習とレベルアップ			
11	舞台実習 ・ 吊り物作業(大パネルの吊り方)			繋いだ大きなパネルの吊り方体験			
12	製作作業 ・ 階段を作る(箱階段2,3段)			6Fステージ用に挑戦			
13	体験作業 ・ 仕掛け物(雪降り、振り落し他)			6Fステージで体験			
14	評価課題 ・ 課題道具の製作			前期評価の課題大道具の製作			
15	評価課題 ・ 課題道具の製作			前期評価の課題大道具の製作			
16	製作作業 ・ 尺柱を作る(3尺、8尺)			前期制作の図面			
17	製作作業 ・ 尺柱を作る 2			道具製作の時間を早める必要を覚える			
18	汚し作業 ・ 尺柱を作る 3 (大理石模様を描く)			芝居の汚し作業となる			
19	課題作業 ・ D-POPのプラ、卒業作品のプラン			コンプロ等他セクションとの協力の大切さ			
20	製作作業 ・ D-POPの大道具の製作			製作、購入、改造、予算等を考える			
21	製作作業 ・ D-POPの大道具の製作・卒展作品製作			スケジュールに従い遅れの無いように段取りする			
22	製作作業 ・ D-POPの大道具の製作・卒展作品製作			スケジュールに従い遅れの無いように段取りする			
23	仕込作業 ・ D-POP仕込			現場体験(D-POP仕込)			
24	本 番 ・ D-POP本番			現場体験(D-POP本番)			
25	製作作業 ・ 卒展作品製作の製作/会場道具製作			自己作品の他展示会場道具の製作			
26	製作作業 ・ 卒展作品製作の製作/会場道具製作			自己作品の他展示会場道具の製作			
27	卒業展示 ・ 卒業会場の設営			2年生ラスト作業			
28	整理整頓 ・ 卒展中、美術室の整理整頓作業			立つ鳥跡を濁さず～新2年生のために			
29	卒業展寺 ・ 卒業会場の撤去			2年生ラスト作業			
30	最終授業 ・ 美術室の整理と廃棄物処理			FKのスケジュール調整が必要			

授業科目名	舞台美術図面制作実習		担当者名	木 村 芳 孝			
			実務経験	テレビ、舞台美術40年の実務経験			
教科書	講師作成プリント	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数 120	ミュージックスタッフ科	2年	通年	必修選択	講義・実習
授業概要	テレビ、舞台美術の基礎の実体験を伝え、実習を行うことにより教科書や理論では得られない実践型授業とする。						
学習到達目標	基礎知識を理解習得し、実現場体験(実習)を遂行出来る基礎的力を習得させる。また卒業後には即戦力となるべく人材を育てる。						
評価方法	課題評価(制作物)、実習取り組み姿勢、出席率等を総合的に判断して評価する。						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	図面制作に必要なMacの基礎知識			図面用イラストレーターの基本を知る			
2	手書き平面図、正面図、投影図の復習			一年次の図面作成の復習			
3	マイ図面を作る(自分専用の1/100、1/50の方眼図面～名前入りで)			作成した図面は全てマイ図面で仕上げ提出する			
4	マイ図面を作る 2			課題1として提出する			
5	迷路図を作成			一年次課題の手書き迷路図をイラレで作成			
6	迷路図を作成 2			課題2として提出する			
7	道具図を作成(3×8、4×6パネルの展開図)			実際のパネルの作り方を図面で表現する			
8	道具図を作成 2			課題3として提出する			
9	舞台平面図をトレース(・仙台ピット、・各自の地元会館)			ネットより原図を探してイラレにコピーする			
10	舞台平面図をトレース 2			課題4として提出する			
11	舞台平面図をトレース 3			仙台ピットは全員、各自の舞台図は各一枚を提出			
12	課題図面作成(指定する道具図の展開図～制作道具裏に貼り込)			図面と制作物を合わせて提出する			
13	課題図面作成 2			課題5として提出する			
14	尺柱図面作成(3尺、6尺、8尺高)			後期で制作する道具図面となる			
15	尺柱図面作成 2			課題6として提出する			
16	D-POP、卒業作品について考える			2年間の集大成実習授業となる			
17	D-POPについては、コンプロスタッフと話し合って図面を作成			D-POP美術としてのプランを考える			
18	卒業作品については、自己作品1点、共同作品1点とする			卒業制作のプランを考える			
19	D-POP関連図面制作			自由にイラストレーターを使ってみる			
20							
21							
22							
23							
24	卒業展示会関連図面制作			自由にイラストレーターを使ってみる			
25							
26							
27							
28							
29							
30	最終授業 ・1年間使用したPCの整理と清掃			新二年生のためクリーンにしておく			

授業科目名	ProTools実習(2)		担当者名	佐々木 朋義			
			実務経験	コンポーザー、ギタリスト			
教科書	・配布資料(プリント、PDF) ・ProTools11徹底操作ガイド	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数					
		120					
ミュージックスタッフ	2年	通年	必修	実習			
授業概要	音楽制作ソフト『ProTools』の基本と知識を学ぶ。現場での使用を目的としたスキルを身につける。						
学習到達目標	1、音楽制作ソフト『ProTools』の扱い方を学び、基本的な編集方法を身につける。 2、Mix、編集など、業界の現場で即戦力になる技術と知識を会得する。						
評価方法	出席率、課題提出、実技試験。						
週数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	この授業『ProTools実習』について			授業紹介。 Macの起動とProTools立ち上げ基本操作等の確認。			
2	昨年のおさらいと2Mix編集①			ProToolsの基本的な使用方法の確認。 各コマンドの確認。			
3	2mix編集②			動画トレーラーを参考に、音声ファイルを作成する。			
4	クリックに合わせた編集①			クリックに合った素材を用いて、小節管理された素材を理解する。			
5	クリックに合わせた編集②			前回の素材を使用し、音楽的に仕上げる方法を習得する。			
6	プラグインの使い方を学ぶ。			プラグインの使用手法と、各種効果を理解する。			
7	ヴォーカルOKテイク作成①			ヴォーカルのOKテイクの作成方法。			
8	ヴォーカルOKテイク作成②			ヴォーカルのOKテイクの作成し、プラグイン処理も行う。			
9	弾き語りMix①			歌とギターの弾き語りMixを習得する。			
10	弾き語りMix②			歌とギターに対しての適切な処理を学ぶ。			
11	バンドMix解説①			バンドMixを行う上での知識、各種基本的な扱い方を学ぶ。			
12	バンドMix②			バンドMixの基本的な項目の編集を行う。			
13	前期試験対策						
14	前期試験						
15	前期試験解説						
16	バンドMix試聴会。			前期提出されたバンドMixを試聴し学ぶ。			
17	バンドMix①			バンドMixの基本的な項目の編集を行う。			
18	バンドMix②			プラグイン処理を行い、マスタリングを行う。			
19	弾き語り録音する①			楽曲をグループ別に録音する1。			
20	弾き語り録音する②			楽曲をグループ別に録音する2。			
21	弾き語りMix①			録音されたのMixを行う。			
22	弾き語りMix②			録音されたのMix、マスタリング。			
23	バンドMix③			よりトラック数の多いバンドMixを学ぶ。			
24	バンドMix④			ミックスダウン処理を学ぶ。			
25	バンドMix⑤			Mixのイメージの確認。テーマに沿ったMixを学ぶ。			
26	バンドMix⑥			テーマに沿ったプラグイン処理、マスタリングを習得する。			
27	バンドMix試聴会			バンドMixを視聴し、他者のMix音源より学ぶ。			
28	後期試験対策						
29	後期試験						
30	後期試験解説						